



2025 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ゼロジャパン
代表者名 代表取締役社長 浅村 裕二
(コード: 171A、TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役管理本部長 井本 幸一
(TEL. 04-2997-2000)

株式会社京栄建設不動産の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月 19 日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社京栄建設不動産（以下「同社」といいます。）の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせします。

1. 株式の取得理由

今後の当社グループ戦略における不動産事業は、既存のリユース事業と並び、成長戦略上の重要な柱と位置づけております。この度、同社の全株式を取得し、子会社化することといたします。

本件により、グループ内での一貫した施工体制を構築し、外部委託コストの削減に加え、プロジェクト推進における機動性及び品質管理の強化を図るとともに、企業価値の最大化に向けた成長戦略を推進してまいります。

また、本件株式取得に伴い、同社の役員よりの借入金（約 70 百万円）については、当社が債務を引き受ける形で整理し、財務体質の健全化とグループ資本関係の明確化を行う予定です。

なお、同社の資本金は、当社の資本金の 10%以上に相当するため、当社の特定子会社に該当することとなります。

2. 異動する子会社（株式会社京栄建設不動産）の概要

(1) 名 称	株式会社京栄建設不動産
(2) 所 在 地	東京都練馬区三原台一丁目 23 番 13 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小林 幸広
(4) 事 業 内 容	リフォーム修理請負業、不動産賃貸業
(5) 資 本 金	50 百万円
(6) 設 立 年 月 日	1969 年 11 月 14 日

(7)	大株主及び持株比率	小林幸広 (56.1%)、小林敏子 (12.0%)、小林達矢 (7.3%) 相澤郁子 (17.4%)、相澤雅教 (7.2%)		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
		人 的 関 係	該当事項はありません	
		取 引 関 係	不動産リフォーム、施工等の取引先であります	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2022 年 9 月期	2023 年 9 月期	2024 年 9 月期
	純 資 産	293 百万円	298 百万円	295 百万円
	総 資 産	456 百万円	459 百万円	465 百万円
	1 株 当 た り 純 資 産	2, 932. 29 円	2, 984. 31 円	2, 957. 90 円
	売 上 高	152 百万円	181 百万円	179 百万円
	営 業 利 益	△5 百万円	5 百万円	△3 百万円
	経 常 利 益	△4 百万円	5 百万円	△2 百万円
	当 期 純 利 益	△5 百万円	5 百万円	△2 百万円
	1 株当たり当期純利益	- 円	52. 02 円	- 円
	1 株当たり配当金	- 円	- 円	- 円

3. 株式取得の相手先の概要

(1)	氏名	小林 幸広
(2)	住所	東京都練馬区
(3)	上場会社と当該個人の関係	ありません

(1)	氏名	相澤 郁子
(2)	住所	東京都練馬区
(3)	上場会社と当該個人の関係	ありません

(1)	氏名	小林 敏子
(2)	住所	東京都練馬区
(3)	上場会社と当該個人の関係	ありません

(1)	氏名	小林 達矢
(2)	住所	東京都練馬区
(3)	上場会社と当該個人の関係	ありません

(1)	氏 名	相澤 雅教
(2)	住 所	東京都練馬区
(3)	上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	ありません

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数： 0 個) (議決権所有割合：0%)
(2)	取 得 株 式 数	100,000 株 (議決権の数：1,000 個)
(3)	取 得 価 額	株式会社京栄建設不動産の普通株式 250 百万円 アドバイザー費用等 (概算額) 27 百万円 合計 (概算額) 277 百万円
(4)	異動後の所有株式数	100,000 株 (議決権の数： 1,000 個) (議決権所有割合： 100%)

5. 日 程

(1)	取 締 役 会 決 議 日	2025 年 11 月 19 日
(2)	契 約 締 結 日	2025 年 12 月中旬予定
(3)	株 式 譲 渡 実 行 日	2025 年 12 月中旬予定

6. 今後の見通し

本件による 2026 年 6 月期の当社業績に与える影響は、現時点では精査中であり未定ですが、取得時において負ののれん (約 60 百万円) が発生する見込みであり、特別利益として計上される予定です。

なお、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2025 年 8 月 14 日公表分)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (2026 年 6 月期)	3,897 百万円	314 百万円	265 百万円	172 百万円